

抽水  
植物

# 茎の節から根を出して広がり水路を埋める外来植物

発行／2022年3月改訂 農林水産省農村振興局鳥獣対策・農村環境課

## ■チクゴスズメノヒエ 重



8月に開花していた。

茎：高さ0.3～0.8m  
水面にマット状に広がる。  
花期は6月下旬～11月上旬。  
水中に落下した種子は翌春も生存する。(写真は8月)



10月に湖岸一面に広がる群落。



チクゴスズメノヒエの花。



キシウスズメノヒエの花。

## ■キシウスズメノヒエ 総



チクゴスズメノヒエより、  
やや小型の近縁の外来種。  
ほぼ同様の被害を及ぼす。

## このような被害が出ます!!

**通水障害!**



幹線排水路一面に広がり、通水障害のおそれがあったため除去を実施。(写真は9月)

**排水路断面の減少!**



末端水路の中に入り込み、土砂の堆積を促進。放置すれば、排水路断面が縮小し、水路から水が溢れる恐れがあったため除去を実施。(写真は11月)

重 (重点対策外来種) は、生態系被害防止外来種リストのカテゴリ区分で、甚大な被害が予想されるため、対策の必要性が高い外来種、  
総 (総合対策外来種) は総合的に対策が必要な外来種です。

詳しくは、日本の外来種対策 <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html> をご覧ください。

## ● 生育環境： 湿地、池沼、水路、水田



幹線排水路内でマット状に広がる。(写真は5月)  
春から秋にかけて茎を伸ばしていく。



上流部の幹線排水路で繁茂する。(写真は12月)

## ● 繁殖方法： 種子繁殖のほか、茎をのばして繁殖



茎の節から次々に根を出している。(写真は12月)



冬になると葉は枯れるが、護岸上に伸びた匍匐枝は生きている。(写真は11月)

## ● 対策

- 生育量が少ない時期(種子をつける6月中旬～9月ごろ)までに除去する。
- 茎の破片からも再生するので、それらもできるだけ回収する。
- 湿った土の上に置くと、根付いて再生するので、乾いた場所に置く。
- 土壌中の種子を広げないよう、防除に用いた機具は土を落とす。



9月に承水路で実施されたレーキ等による  
人力での除去作業。



幹線排水路で実施された、そりを活用しての  
人力での除去作業。

### 本資料に対するお問い合わせ

北海道開発局農業振興課 011-700-6768  
東北農政局農村環境課 022-221-6256  
関東農政局農村環境課 048-740-0515

北陸農政局農村環境課 076-232-4533  
東海農政局農村環境課 052-223-4631  
近畿農政局農村環境課 075-414-9052

中国四国農政局農村環境課 086-224-9417  
九州農政局農村環境課 096-300-6436  
沖縄総合事務局農村振興課 098-866-1652

農林水産省農村振興局鳥獣対策・農村環境課 03-3502-6091